

## 今週のメニュー

■ [トピックス](#)

◇2018年 子どもとためす環境まつり -10年連続参加-

■ [随想](#)

◇素人登山ビトの山日誌 ①<大菩薩嶺(山梨県)>

株式会社テオリアハウスクリニック 平 一暁

## ■ トピックス

◇2018年 子どもとためす環境まつり -10年連続参加-

9月22日(土)に中央区立月島第二小学校で行われた「2018年 子どもとためす環境まつり」※1) にブース出展しました。塩ビ工業・環境協会(VEC)の参加は、今年で10年連続となりました。



会場の入口

この「子どもとためす環境まつり」は、中央区環境保全ネットワークが子どもたちや地域の方々に環境問題についてより理解を深めてもらうことを目指し、次世代へ向けた体験学習型イベントとして2004年から開催され、今年で15回目を迎えました。第1回目の会場が今回の月島第2小学校です。VECは「NPO法人持続可能な社会を作る元気ネット」と共同で参加したことを契機に、この活動に共感し、環境学習の応援として参加しています。

VECブースでは、塩ビ製品が身の周りの様々な場面で利用され、暮らしの中で役立っていることを理解してもらうため、耐久性があり、長寿命でリサイクル性能に優れている塩ビパイプ(発泡三層管)、断熱性能に優れ省エネに貢献する樹脂窓、何度も繰り返し使用したテントシート生地を切り取って再利用(リユース)したトートバッグ、壁紙端材を用いてリサイクルした防滑性の安全マットなどを展示しました。会場を訪れた方には実際に触ったり、説明を聞いたりして塩ビ製品のよさを実感していただきました。特に、パフェやスパゲティーなど食品サンプルは人気が高く、色が鮮やかでソフトな感触があって本物と見間違えるほどで、近くにあった長靴や消しゴムと同じ塩ビ素材とは思えないと驚きの感想を漏らされている方が多くいました。



また、子どもたちに対して、昨年好評であった硬質塩ビシートでつくったサバンナの動物たちのセットシートに続き、今回は水辺に棲む動物たち(ゾウガメ、ワニ、カエル)を



会場の様子



VEC ブース  
クラフト工作の様子

組み立てていただきました。今年も低学年の子どもが多かった為、比較的組み立てに苦労している子どもが多かった様に思いましたが、親御さんとの共同作業により、次々と動物たちを完成させていました。VEC ブースには昨年並みの約 200 名の子どもたちが訪れ、盛況のうちに終わりました。

また、昨年に引き続き今年も「子どもとためす環境まつり」をサポートするサーモンプロジェクト※2) の子どもたちが各ブースを取材しました。当ブースにも訪れ「プラスチックはどの様なところに使われますか？」など、子どもの視点で取材をしていただきました。

実行委員会の方々の努力で今年も無事に終わることが出来ました。感謝致しますと共に、今後とも、この地道な活動を応援していきたいと思っております。

※1) 主催：中央区環境保全ネットワーク。共催：中央区、中央区教育委員会。後援：環境省関東地方環境事務所、東京都環境局、東京商工会議所中央支部、社会福祉法人中央区社会福祉協議会。協賛：約 40 の企業・団体。協力：中央区立月島第二小学校 PTA、東京カレッジ・オブ・カイロプラクティック、(公財) 東京都環境公社東京都地球温暖化防止活動推進センター。

※2) 成長した鮭（サーモン）が生まれ育った川に戻ってくるように、中央区で育った子供がいろいろな経験を通して成長し、大人になって中央区に戻り、活躍してほしい、中央区を活性化してほしいという願いが込められたプロジェクトとのこと（主催：中央区環境保全ネットワーク）。

## ■ 随想

◇素人登山ビトの山日誌 ①<大菩薩嶺（山梨県）>

株式会社テオリアハウスクリニック 平 一暁

わたくし、(株)テオリアハウスクリニックの平一暁（たいらかずあき）と申します。現在、弊社で取締役法人営業部長を仰せつかっております。弊社は 1974 年に設立したシロアリの防除会社として、設立時は関東白蟻防除(株)という社名。「シロアリ被害のある住宅を駆除するのがシロアリ屋の仕事」という時代に、「新築時にシロアリの予防をする」という新風を住宅業界に巻き起こした、



浮雲児的な会社でした。2015年10月には断熱や住宅診断といった新規事業も始めるにあたりテオリアハウスクリニックに社名変更したという、現在約80名の会社です。

「何でシロアリ屋がVECのメールマガジンに寄稿するんだ！」というお叱りの声が聞こえてきそうですが、実は弊社はジェルコ（日本住宅リフォーム産業協会）に加盟しておりまして、ジェルコの性能向上セミナーを昨年からVECさんに共催して頂くようになり、お知り合いが増える中で、なぜか私の素人山登りに焦点が当たった次第です…（汗）私の山登りの経歴は5～6年。弊社に入社して15年。その前は、芸能界でマネージャーを17年していたという訳のわからない経歴の持ち主ですが、まあ、芸能界のウラ話などは、また機会がありましたら追々…

前置きが長くなりました。それでは心に残る山登りのお話を…。

そもそも私が山に登るようになったのは、今から5～6年前。休日は家でゴロゴロしているのがサイコ～！と思っていた私に、カミさんが怒りを爆発させました。ゴロゴロしてるな！身体を動かせ！早死したいか？私は山に行くから一緒について来い…。私の山登りのスタートは半ば強制で、嫌々ながら…（汗）しかも登山用品なんて何も持っていないので、ナップサックにジーンズにスニーカー。今では考えられないような格好で山に向かったのです。



まだまだ初心者の私に、山登りって面白いかも～、と思わせてくれたのが、山梨県にある大菩薩嶺でした。3～4回山に登って、さて次はどこへ？となった時、小説で「大菩薩峠」ってあったのと、ふと頭に浮かんだのです。（読んだ訳でもないのに、ふとタイトルが浮かんだだけなのですが…）

2013年10月、車で登山口に向かったのですが、土産物屋に立ち寄っているうちにナビが故障するわ、道に迷うわで、登山口に着いたのは12時近く…登山者にあるまじき大失態でした。とにかく早い時間に登って、早い時間に下山するのが山登りの基本。日没前に下山しないと道に迷ったり、怪我、滑落の危険が伴いますからネ。まだまだ未熟者でした。

この山のポイントは、険しくて急な坂をひたすら登るような山ではなく、穏やかな山道がほとんどなのに2,057mの山頂に行けて、素晴らしい絶景を堪能できる事。しかも日本百名山の一つなのです。こんなラクしてこれ程の絶景を拝めるの？富士山も見えるし！が当時の自分の感想です。重要なのは、車を丸川峠分岐の駐車場に停めるのではなく、ロッチ長兵衛のある上日川峠の駐車場まで来る事。これでだいぶ行程



が短縮できます。一般の人達は山の高さだけで登る厳しさを想像するのですが、ホントは登山口から山頂までの高低差がどれ位あるのか、なんですね。大菩薩嶺の場合、山頂が2,057mで上日川峠の登山口は1,587m。高低差は470mですから、初心者でも安心です。私は、上

日川峠→福ちゃん荘→大菩薩峠→大菩薩嶺→雷岩→福ちゃん荘→上日川峠のルートで3時間で巡りました。ただ雷岩から福ちゃん荘の道は近道なのですが、その分急坂があるので注意が必要です。



ここは大菩薩峠から大菩薩嶺への稜線が素晴らしく美しい。それと富士山や南アルプスの山々の眺め。山に登るようになって思うのは、山のナマで見る絶景は写真や動画だと、その100分の1も伝わらない。実際に見て堪能するのがイチバン！大菩薩嶺は、初心者でもそれが可能な山ですから、興味を持たれた方、ぜひお試しを！



⇒ [バックナンバー](#)

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。